

名古屋 蓬左文庫

TEL (052) 935 2173
〒461 0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <http://housa.city.nagoya.jp/>



蓬左文庫は、尾張徳川家の旧蔵書を引き継いだ文庫です。蔵書数は約12万点。「河内本 源氏物語」など7件154点の重要文化財、尾張徳川家初代義直が徳川家康の遺品として譲り受けた駿河御讀本、歴代藩主が収集した書物を中心に、全国的にも優れた古典籍を伝えています。

閲覧室では蔵書の閲覧や画像利用に加え、古典や郷土史に関するレファレンスにも応じています。また、国の有形文化財に登録されている旧書庫棟を利用したエントランスホールでは、かつての書庫の様子を再現し、展示室では徳川美術館とともに、大名文化や古典籍をテーマにした展覧会を開催しています。



■閲覧室／入室無料 館外貸し出しはいたしません。

【閉 架 図 書】午前9時30分～12時、午後1時～5時

【開 架 図 書】午前9時30分～午後5時

【複写サービス】保存など支障のない範囲で、CD-Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。

閲覧室内の書架(15,000冊収容)にある参考図書は自由にご覧いただけます。

書庫内の資料は、検索・閲覧システムを使って閲覧請求ができます。

徳川美術館・蓬左文庫共通

■開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休 館 日／月曜日(祝日・振替休日の場合は直後の平日)

2020年12月14日(月)～2021年1月4日(月)

観覧料 一般 1,400円 高・大生 700円 小・中・生 500円

※20名以上の団体は一般200円、その他100円割引 ※毎週土曜日、小・中・高生入館無料

※2020年11月8日(日)～2021年1月31日(日)の一般の観覧料は、1,200円となります。(※内面枠内の展覧会対象)

徳川園

TEL (052) 935 8988
〒461 0023 名古屋市東区徳川町1001
ホームページ <https://www.tokugawaen.aichi.jp/>



徳川園は池泉回遊式の日本庭園で、清流が滝から溪谷を下り海に見立てた池へと流れるありさまは、日本の自然景観を象徴的に凝縮しています。さらに、高低差の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を大胆に切り替える構成を用いて大名庭園の「荘厳さ」が体感できます。また、新緑や紅葉、牡丹や花菖蒲の花々など四季を通じて楽しめる庭となっています。

■開園時間／午前9時30分～午後5時30分(入園は午後5時まで)

■休 園 日／月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12/29～1/1)

■入 園 料／一般 300円 中学生以下無料

徳川美術館・蓬左文庫共通観覧 一般 1,550円※

※2020年11月8日(日)～2021年1月31日(日)の一般の入園料(徳川美術館・蓬左文庫共通観覧)は1,350円となります。

ガーデンレストラン 徳川園 052-932-7887

日本料理 宝善亭 052-937-0147

ショップ 葵 052-325-5810



徳川美術館

TEL (052) 935 6262
〒461 0023 名古屋市東区徳川町1017
ホームページ <https://www.tokugawa-art-museum.jp/>



徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直(家康九男)以下代々の遺愛品、いわゆる「大名道具」1万件余りを収める美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財59件など、種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。本館は国の有形文化財に登録されています。

【名品コレクション展示室 約1ヶ月毎に展示作品が替わります】

尾張徳川家伝来の名品を中心に、大名の生活と文化を紹介する展示室です。尾張徳川家当主の公的生活の場であった名古屋城二之丸御殿を、部分的ながらも時代考証に基づいて、そのまま復元してあります。美術品とそれらが使われた空間との一体的な体系展示によって、美術品単体の美にとどまらず、日本の伝統美である「構成の美」あるいは「取り合わせの美」を鑑賞することができます。



交通のご案内

名古屋観光ルートバス「メーグル」

名古屋駅バスターミナル11番のりば
名古屋駅発着で平日30分～1時間に1本、
土・日・休日は20分～30分に1本運行
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」停留所下車徒歩約1分

名古屋駅より

【市バス】名古屋駅バスターミナル10番のりば 基幹2系統「猪高車庫」ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分) 徒歩約3分

【名鉄バス】名鉄バスセンター4番のりば 「三軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分) 徒歩約3分

【J R】JR中央本線「多治見」方面ゆき「大曽根」駅下車
南出口から徒歩約10分

【地下鉄】桜通線「徳重」ゆき、「車道」駅下車1番出口より徒歩約15分

栄より

【市バス】栄バスターミナル(オアシス21)3番のりば
基幹2系統「引山」、「四軒家」方面ゆき
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分) 徒歩約3分

【地下鉄】市営地下鉄名城線(右回り)「大曽根」駅下車
E5番出口より徒歩約15分



尾張徳川家ゆかりの地

大名文化の真髄が体感できる

徳川美術館 名古屋 蓬左文庫 徳川園

二〇二〇年度ご案内



2020年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2021年 1月 2月 3月

3/31(火)～4/28(火) 4/29(水)～5/26(火) 5/27(水)～6/21(日) 6/23(火)～7/21(火) 7/22(水)～8/25(火) 8/26(水)～9/22(火) 9/24(木)～10/20(火) 10/21(水)～11/17(火) 11/18(水)～12/13(日) 1/5(火)～1/31(日) 2/2(火)～3/2(火) 3/3(水)～3/28(日)

【第1展示室】名刀セレクション・【第5展示室】国宝 初音の調度《一年を通じて順次数点ずつ展示公開します》



井戸茶碗 銘 大高麗
(3/31～6/21)



刀 銘 村正 (6/23～9/22)



紅地雷文・四ツ花菱文厚板
(9/24～10/20)



連磨図無準師範筆・同賛(部分)
(10/21～11/17)



【修理後初公開】国宝 初音絵箱香具箱
(11/18～12/13)



白羅紗地葵紋付唐獅子牡丹文火事羽織
(1/5～1/31)



【特別公開】
千利休 泪の茶杓
2/20(土)～3/2(火)
竹茶杓 銘 泪

名品コレクション展示室

徳川美術館 本館展示室

蓬左文庫展示室

徳川園

4/12(日)～5/31(日)

春季特別展
家康から義直へ
—尾張藩誕生物語—

天下統一を果たした徳川家康と、泰平の世に尾張国統治を任された家康の息子義直。本展では、義直へと受け継がれた治世方針に焦点をあてながら、二人の生涯、そして義直の家康への思いを、遺品や史料などから読み解きます。



重文 脇指 無銘 貞宗 名物 物吉貞宗

6/6(土)～7/12(日)

特別展
刻を描く 田淵俊夫

日本画家・田淵俊夫は、日本画の美質である装飾性と精神性を両立させながら創作を続けています。田淵俊夫の画業を振り返り、新作を含め、画家自薦による名品を紹介します。



旅の窓から 2001年 個人蔵

7/18(土)～9/13(日)

特別展
漆—徳川美術館珠玉の名品—

世界に誇る徳川美術館の唐物漆器コレクションを中心に、器体に金や銀の粉を蒔き付けて繊細で美しい意匠を凝らした日本の蒔絵、さらに朝鮮・琉球などの諸作品を通じて、漆による工芸品の美しさと魅力に迫ります。



螺鈿楼閣人物図桃形食籠

9/20(日)～11/3(火・祝)

秋季特別展
殿さまが好んだ
ヨーロッパ

—異国へのまなざし—
御三家筆頭の尾張徳川家に伝来した日本と西欧を関連づける品々は、国内でも珍しい作品を数多く含んでいる重要なコレクションです。このコレクションを、他家伝来品等と併せて一堂に紹介します。



八星メダイン文絨毯



銅版画「野生動物・鳥・魚の狩猟」
(ストラットの原画による)
(「阿蘭陀人殺生図」の内)

2/6(土)～4/4(日)

特別展
第33回 尾張徳川家の雛まつり

尾張徳川家伝来の雛人形・雛道具を中心に、大名家ならではの豪華で気品ある雛の世界を紹介します。



有職雛

6/6(土)～7/12(日)

企画展
祈りのこころ
—尾張徳川家の仏教美術—

信仰の拠りどころであった經典・仏像・仏画や、供養のために寺院に奉納され、墓所へ埋葬された個人の遺愛品など、尾張徳川家伝来の品を中心に大名の人々や仏教に寄せた思いを紐解きます。



重文 刺繍阿弥陀三尊来迎図
(部分)

7/18(土)～9/13(日)

企画展
怪々奇々—鬼・妖怪・化け物—

古典文学に記された怪奇現象や、描かれた幽霊や鬼・妖怪などの世界をご紹介します。



武大夫物語絵巻(部分)

11/8(日)～12/13(日)

企画展
読み継がれた源氏物語

紫式部が著した『源氏物語』は、千年にわたり読み継がれてきた古典の名作です。五島美術館所蔵の国宝「紫式部日記絵巻」を特別公開し、日本が世界に誇る『源氏物語』の文化史をたどりながら、その魅力を紐解きます。



源氏物語絵巻 桐壺(部分) 個人蔵

1/5(火)～1/31(日)

企画展
竹—日本の美—

日本人にとって最も身近な植物の一つである「竹」にまつわる様々な作品から、竹とともに育まれた日本の美意識を探ります。



墨竹園風炉先屏風 狩野常信筆(部分)

2/6(土)～4/4(日)

企画展
尾張の百科事典
—御秘本「張州雑志」—

尾張藩で「御秘本」として扱われた地誌『張州雑志』。本書に描かれた宝物・動植物・風俗等の色鮮やかな記録画を展示し、江戸時代の尾張の世界を紹介します。



張州雑志巻72 津島天王祭図

4/11(土)～26(日)

春を謡う 徳川園牡丹祭



6/7(日)

徳川園 山車揃え

6/6(土)～7/7(火)

雨を聴く
徳川園の和傘と七夕



8/12(水)～16(日)

夜に憩う 徳川園夕涼み
[夜間開園～午後8時30分]



9/30(水)・10/1(木)
月を掬う 徳川園観月会
[夜間開園～午後8時30分]

10/18(日)
名古屋まつり
無料開園

11/3(火・祝)
徳川園開園記念日
無料開園



11/21(土)～12/6(日)
錦を纏う 徳川園紅葉祭

12/13(日)～1/13(水)
松を寿ぐ 徳川園のお正月



1/2(土)～2/16(火)
寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹

12/29(火)～1/1(金)
休園日

3/21(日)
徳川園起源の日
無料開園